

イベントタイプ：田んぼアート

一般参加：可



「平成29年度作品：桃太郎」



「冬の田んぼアート（スノーアート）」



「平成27年度作品：風と共に去りぬ」

田舎館村は、田んぼアートのさきがけで、7色の稲で描かれたアートは緻密で芸術性が高く、海外メディアにも取り上げられています。見学会場は村役場の第1会場と道の駅いなかだての第2会場がありますが、第2会場では石アートや冬には「冬の田んぼアート」としてスノーアート（夜はライトアップ）も見るができます。

このイベントは、平成5年から実施され、毎年20万人以上が訪れます（ただし、令和2年は中止しています）。

○ アクセス （公共交通機関）

第1会場：

JR「川部駅」より車で約10分

第2会場：

JR「川部駅」より車で約15分
（自動車）

第1会場：

東北自動車道「黒石IC」より約10分

第2会場：

東北自動車道「黒石IC」より約5分

○ 問い合わせ先

・田舎館村役場企画観光課

☎ 0172-58-2111

・開催時期：6～10月、2月

・開催場所：

第1会場：田舎館村展望台（田舎館村役場）

（住所：田舎館村大字田舎館字中辻123番地1）

第2会場：弥生の里展望所（道の駅いなかだて）

（住所：田舎館村大字高樋字八幡10番地）

第1会場である田舎館村役場の近くには、樹齢400年を超えるサイカチの大樹が田舎館千徳氏五代掃部政武の居城の本郭に茂り、昔をしのばせています。

第2会場である道の駅いなかだて「弥生の里」には、概ね7.5ヘクタールの用地に産地直売センターやレストラン、さまざまな遊具をはじめ、パターゴルフや動物とのふれあいができる公園などを兼ね備えた「ゆっくりくつろぎ遊べる」広場があります。

みちのくあじさいまつり

いちのせきし

【岩手県一関市】

夏

イベントタイプ：花木等鑑賞

一般参加：可



「あじさい池」



「あじさい畑」



「猊鼻溪（秋）」

みちのくあじさい園では、スギ林15ha内の散策路2kmにヤマアジサイをメインに400種4万株のアジサイが咲き誇り、日本アジサイ協会からは「日本一のあじさい園」と評価されています。

このあじさい園で、毎年6月下旬から7月下旬に開催している「みちのくあじさいまつり」には、全国・海外から1万人が来園します。園内入口には、休憩所や車イス対応のトイレも完備され、運転手付きのカート（有料）も用意されています。

- ・開催時期：6月下旬～7月下旬
- ・開催場所：みちのくあじさい園（住所：一関市舞川字原沢111）

○ アクセス

（公共交通機関）

- ・JR「一ノ関駅」より車で約20分
- ・路線バス：一ノ関駅西口バス乗り場7番猊鼻溪（げいびけい）行バス約42分「水上（みずかみ）」で下車（自動車）

- ・東北自動車道「一関IC」より車で約30分

○ 問い合わせ先：一関市観光協会

☎ 0191-23-2350

○ 参考URL

<https://www.ichitabi.jp/spot/data.php?p=36>

周辺情報

近くには日本百景の一つ猊鼻溪（げいびけい）があります。長さ2kmにわたる渓谷で、川岸には高さ100mの絶壁に奇岩怪岩がそびえ立ち、その渓谷美は国の名勝に指定されています。名物の舟下りの所要時間は往復で約90分。船頭の「げいび追分」が深山幽谷に響きわたります。

少し足を伸ばすと、平成23年に東北で初めて世界文化遺産に登録された平泉があります。

かぶ くり めま
蕪栗沼マガン見学ツアー
 おお さき し
 【宮城県大崎市】

冬

イベントタイプ：景観鑑賞

一般参加：可



「蕪栗沼に映えるマガン」



「マガン」

- アクセス
 (公共交通機関) JR「古川駅」下車
 (自動車) 東北自動車道「古川IC」より車で約15分
- 問い合わせ先
 ・一般社団法人みやぎ大崎観光公社
- ☎ 0229-25-9620
- 参考URL
<https://www.mo-kankoukousya.or.jp/>

平成29年に大崎地域が北海道・東北地方で初めて世界農業遺産に認定されました。世界農業遺産「大崎耕土」の水田と“ねぐら”となる湿地の双方を必要とするマガン。その越冬地であり、毎年約7万羽のマガンが飛来する『蕪栗沼』は、平成17年、ラムサール条約に登録されました。

みやぎ大崎観光公社では、冬の風物詩マガンと渡り鳥のバードウォッチングを行う蕪栗沼マガン見学ツアーを実施しています。ねぐら入りの鳥たちが次々と頭上を越えて沼に帰ってくる姿、朝日が昇る前に日中の活動場所へ飛び立つ姿は迫力満点。マガンを驚かせてしまわないよう、例年少人数で開催しております。

身が縮むほどの寒さをも忘れてしまうほどの光景をぜひとも体感しませんか。

- ・開催時期：12～1月
- ・開催場所：大崎市田尻地域（古川駅前集合）
 （集合場所住所：大崎市古川駅前大通一丁目7）



「木造千手観音坐像」

蕪栗沼がある田尻地域には、居久根が点在する大崎耕土のランドスケープを一望できる標高224mの山『加護坊山』、沼の水面を覆いつくすようにハスの花が咲き乱れる『切伏沼』、平成29年国の重要文化財に指定された『木造千手観音坐像』が収蔵されている田尻総合支所があります。

自然豊かな大崎市田尻地域へぜひともお越しください。

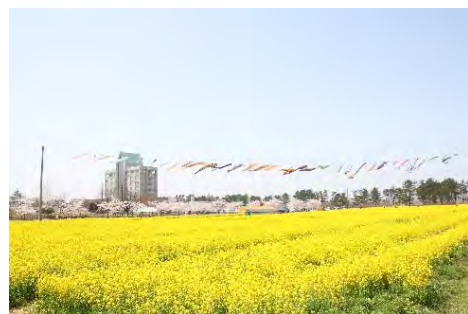
おお がた むら
大潟村桜と菜の花まつり
 おおがたむら
【秋田県大潟村】

イベントタイプ：花木等鑑賞

一般参加：可



「菜の花ロード正面」



「菜の花畑」



「桜並木」



「菜の花畑とミニSL」

大潟村の中央を走る県道298号線沿い11kmにわたり、約4,000本の桜が植えられ、花の見頃が合うと桜と菜の花、黒松のコントラストが楽しめます。

また4月下旬から5月上旬には、1.8haの菜の花畑を主会場に、桜と菜の花まつりが開催され、菜の花の摘み取り体験やミニSLに乗車できます。

このまつりは平成18年から実施され、例年12万人の人出で賑わいます（ただし、令和2年は中止しています）。

○ アクセス

（公共交通機関）JR「八郎潟駅」よりバスで約30分

（自動車）秋田自動車道「五城目八郎潟IC」より車で約30分

○ 問い合わせ先

・大潟村役場産業建設課

☎ 0185-45-3653

・開催時期：4～5月

・開催場所：主会場は多目的運動広場

（住所：大潟村字北1丁目3）

主会場の近くには大潟村干拓博物館があります。八郎潟はかつて琵琶湖に次ぐ日本第2の広さを誇る湖でした。国の干拓事業により、20年もの歳月をかけて現在の大潟村が誕生しました。博物館では干拓事業の様子や村の歴史・農業・環境をジオラマやマルチスクリーンで紹介しています。

ただ 棚田でピクニックコンサート 春

やまのべまち
【山形県山辺町】

イベントタイプ：
景観鑑賞、コンサート

一般参加：可



「棚田でピクニックコンサート」



「稲杭掛け風景」



「棚田米」

令和2年7月に東北地方で2番目に指定棚田に指定された大蔵の棚田は13ha・80枚の規模です。

ここでは秋になると刈り取った稲を自然乾燥させる「稲杭掛け」を見ることができます。

菜の花畑の黄色と、山の青々とした木々のコントラストが美しい春の棚田を舞台に、山形交響楽団とのコラボイベント「棚田でピクニックコンサート」が開催されています。

このイベントは令和元年から開催されており、自然の中でのんびり食事と音楽が楽しめると、多くの方に好評を得ています。

- ・開催時期：5～6月頃
- ・開催場所：大蔵の棚田（住所：山辺町大字大蔵）

○ アクセス

（公共交通機関）JR「山形駅」より車で約30分

（自動車）山形自動車道「山形中央IC」より車で約25分

○ 問い合わせ先：山辺町役場産業課

☎ 023-667-1106

○ 参考URL

<https://www.town.yamanobe.yamagata.jp/soshiki/9/oowarabi-tanada.html>

周辺情報

棚田のすぐそばにある瑞永寺には稲穂を手に持った棚田聖観音菩薩が棚田を見守っています。

周辺にはため池百選にも選定されている「玉虫沼」があり、沼の周りは玉虫沼湖畔公園となっています。

しかむらたなだ
四ヶ村棚田ほたる火コンサート
おおくらむら
【山形県大蔵村】

夏

一般参加：可

イベントタイプ：
 ライトアップ、コンサート



「四ヶ村棚田ほたる火コンサート」

四ヶ村の棚田は面積は約125haあり、日本最大級の面積を誇っており、令和2年4月には東北初となる棚田地域振興法の指定地域にも指定されています。

この「日本棚田百選」（平成11年7月認定）にも認定された「四ヶ村の棚田」で「四ヶ村棚田ほたる火コンサート」が毎年8月第1土曜日に開催されています。約1,200本のホタル火が演出する幻想的な棚田の雰囲気の中でピアノとオカリナのコンサートが行われます（令和2年度は中止）。

毎年約1,500人の来場者があり、人気のイベントとなっております。



「ほたる火に満天の星」



「ほたる火」

- ・開催時期：8月第1土曜日
- ・開催場所：四ヶ村の棚田
 （住所：大蔵村大字南山）



「味来館そば」

- アクセス
 （公共交通機関）JR「新庄駅」より車で約45分
 （自動車）東北中央自動車道「舟形IC」より車で約30分
- 問い合わせ先
 ・四ヶ村棚田ほたる火コンサート実行委員会
 ☎ 0223-75-2105

棚田を散策する時には「ふるさと味来館」で郷土料理や手打ちの田舎そばに舌鼓を打ってみてはいかがでしょうか。

周辺には開湯1200年を誇り湯治場の風情溢れる「肘折温泉郷」があり、春から秋にかけて朝市が開かれ賑わいを見せています。

イベントタイプ：田んぼアート

一般参加：可



「令和元年度作品：眠れる森の美女」



「きらきらアート（イルミネーション）」



「田植え祭りの様子」

- ・開催時期：7～8月、11～1月
- ・開催場所：鏡石町図書館
(住所：鏡石町旭町440-6)

○ アクセス

(公共交通機関) JR「鏡石駅」より
徒歩1分

(自動車) 東北自動車道「鏡石PAス
マートIC」より車で約5分

○ 問い合わせ先

・かがみいし田んぼアート実行委員会
(鏡石町産業課内)

☎ 0248-62-2118

○ 参考URL

<https://www.town.kagamiishi.fukushima.jp/>

鏡石町の田んぼアートは観覧場所が図書館とい
うこともあり「窓から眺める絵本～もう一つの図
書館」をコンセプトに、童話や童謡をテーマとし
て0.7haの水田に作成しています。

また、平成28年冬からは、新たな取り組みとし
てLEDを活用したイルミネーション「輝る田んぼ
アート」を実施しています。

このイベントは、平成24年から実施され、毎
年2～3万人が訪れます(ただし、令和2年は新型コ
ロナウイルス感染症の拡大防止により中止してい
ます)。



「トウモロコシ巨大迷路」

近くには小学唱歌「牧場の朝」のモデルとなった岩瀬牧場があります。

日本で最初の西欧式牧場で、面積は約33ha、牛たちがのんびりと草をはんでいたり、
ポニーや小ヤギたちと楽しく遊ぶふれあい広場やバラ・シャクヤク・コスモス等、季
節ごとの花たちが美しく咲く庭園もあり、家族づれで1日楽しめるところです。また、
昨年の7月から9月には、東北最大級面積1.3haで長さが2kmもあるトウモロコシ畑の迷
路が出現しました。